河川協力団体

カラカネイトトンボを守る
認定NPO法人　あいあい自然ネットワーク

カラカネイトトンボをはじめとする湿地の生き物のすみかを守るため、石狩川下流の泥炭性湿地の調査、研究、保全活動を行っている団体です。子供達を中心に身近な自然と触れあう体験活動など、啓蒙活動にも力を入れています。
【平成9年（1997年）設立】

河川協力団体としての活動内容

（平成29年3月17日河川協力団体指定）

石狩川水系石狩川
（当別地区自然再生地付近）
　昆虫調査・研究

石狩川水系茨戸川
（あいの里・ビトエ地区付近）
　環境教育、自然観察会（植物、魚類等）、ビオトープ維持保全活動

主な活動状況

図1. 当別自然再生地区のトンボ相の多様度指数の経年変化
（Simpsonの多様度指数）

当別地区自然再生モニタリング

- 当別地区自然再生地に生息するトンボ相に関わる調査を実施し、自然再生による生物への効果を整理しています。
- 調査結果を基に、地域団体や学識経験者等で構成される「当別地区自然再生ワークショップ」への報告資料を作成しました。 令和4年度実施日：7月29～30日

とんぼの学校整備

- 茨戸川河畔の人工湿地（ビオトープ）に「とんぼの学校」と愛称をつけて維持保全活動・環境教育を行っています。
- コロナの感染対策を図りながら、計画通りの活動を実施しました。4月にはカワセミの営巣場所を整備し、6月、8月には池沼・河畔植生の維持管理活動（草刈り・湿生植物の植栽）ならびに河川環境の重要性に関する啓発活動（生物観察、カヌー体験）を開催しました。 令和4年度開催日（参加者数）：
4月31日(8名)、6月26日(33名)、8月21日(54名)